

【令和7年度 政策・調整会議】

件 名：未来を育む学校サポートプログラム（第3次教職員の働き方・仕事の進め方改革の方針）（素案）の策定について

日 時：令和7年11月10日（月）10：50～10：55

場 所：本庁舎7階特別会議室

●付議理由

本市では2次にわたり「働き方・仕事の進め方方針」を策定し、時間外在校等時間の縮減等、教職員の働き方・仕事の進め方の取組を進めてきたが、依然として国の定める時間外在校等時間の上限を超えており、更なる業務の改善が求められている。

そのため、学校との意見交換等を踏まえた新たな方針を「未来を育む学校サポートプログラム」として策定し、取組を推進するため。

●付議概要

第3次方針として「未来を育む学校サポートプログラム」を素案として取りまとめる。

<案>

1 計画策定の趣旨・目的

本プログラムの取組を推進し、教員が子どもと向き合える時間の増加や時間外在校等時間の縮減、自身の能力向上に充てる時間の確保などにより、教育の質を向上させるとともに学校現場の魅力を向上させ、教職員が働きやすい環境を作る。

2 本プログラムのポイント

（1）「現場の生の声」を反映した内容となるよう教育委員会と学校現場との意見交換を合計31回実施し、それらで得た意見と、国が示した「学校と教師の業務の3分類」の内容を踏まえて「4つの対応の方向性」を定める。

（2）働き方改革に係る役割を転換し、教育委員会は学校の挑戦を支援し、ともに進めるパートナーとなり、学校や教職員は、自らの力で学校を変える主体者となって、自律・自走する学校等の実現を目指す。

3 学校等に係る業務「4つの対応の方向性」（取組の主体者の整理）

（1）教育課程の編成による創造的な余白づくり（学校）

（2）教員の負担軽減・業務改善（学校）

（3）児童生徒主体の学びへの転換（学校）

（4）しくみづくり・環境整備・人材確保（教育委員会）

4 取組の進捗状況の確認

設定した目標について、毎年度その進捗状況を把握し、教育委員会、議会、総合教育会議等に報告

●結論

案のとおり了承。